

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道8号 <small>なんごうかくふく</small> 南郷拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北陸地方整備局
起終点 自：石川県加賀市黒瀬町 至：石川県加賀市熊坂町		延長 4.7km
事業概要 一般国道8号南郷拡幅は、小松・加賀地方圏における広域幹線道路ネットワークを構成し、交通混雑の緩和、広域ネットワークの形成、観光の支援等といった重要な役割を担っている、約4.7kmの現道拡幅事業である。		
S51年度事業化	S57年度都市計画決定 (H3年度変更)	S54年度用地着手
全体事業費 180億円		事業進捗率 77%
計画交通量 21,500~34,000台/日		供用済延長 2.6km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 2.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 46/286億円 (事業費: 35/261億円) (維持管理費: 11/25億円)
総便益 (残事業)/(事業全体) 107/475億円 (走行時間短縮便益: 104/444億円) (走行費用減少便益: 1/15億円) (交通事故減少便益: 3/16億円)		基準年 平成17年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動: B/C=2.1~2.6 (交通量±10%) 事業費変動: B/C=5.9~7.1 (事業費±10%) 事業期間変動: B/C=6.4~6.5 (事業期間±20%) 割引率変動: B/C=5.5~7.6 (割引率±1%)		
事業の効果等 ・交通混雑の緩和(渋滞の解消が見込まれる) ・観光の支援(山代温泉へのアクセス向上が見込まれる)		
関係する地方公共団体等の意見 南郷拡幅は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、加賀市をはじめとする関係4市1町で構成される加賀地区開発促進協議会等より建設促進を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 交通量の増大により交通混雑が深刻化している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 加賀市黒瀬町～細坪町間(L=2.6km)については平成13年度までに4車線供用しており、用地買収も93%進捗している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残事業区間は平成18年度から工事着手を予定しており、平成20年度末に全線供用開始予定である。		
施設の構造や工法の変更等 グレキャスト製品の積極的な活用及び大型化(長尺化)、建設発生土の有効利用、再生材を利用した舗装、路盤工の活用によりコスト縮減に考慮している。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。		
事業概要図		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。